

3月1日(土)～7日(金)は子ども予防接種週間 予防接種の受け忘れがないか母子健康手帳を確認しましょう

問・すこやか生活課 ☎(598)5711 FAX(582)1138
 ・一般社団法人 守山野洲医師会 ☎(582)4113

予防接種は、大切な子どものいのちを守ります。予防接種を受けて病気を予防しましょう。
 予防接種を受けるには、事前予約が必要です。実施医療機関は、市ホームページをご覧ください。

💡 特に接種期間に注意して
 いただきたい予防接種

麻しん風しん混合(MR2期)

対 平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ
 (小学校入学前の1年間が対象)
 接種期間 3月31日(月)まで



💡 特に受け忘れの多い
 予防接種

日本脳炎予防接種(2期)

対 9歳～13歳未満

ジフテリア・破傷風混合(DT)

対 11歳～13歳未満

ヒトパピローマウイルス感染症予防(HPV)

対 小学6年～高校1年生相当の女子

※キャッチアップ接種に関する情報は、
 市ホームページをご覧ください。



子ども予防接種週間



子どもの予防接種



HPVワクチン
 予防接種



ご存じですか、マタニティマーク

問母子保健課 ☎(583)0898 FAX(582)1138

妊娠中、特に妊娠初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するために、とても大切な時期です。

しかし、この時期は外見からは妊娠しているかどうか分かりにくいので、つわりなどの症状があっても周囲に気づいてもらえなかったり、緊急時に適切な対応を受けるのが遅れたりします。また、出産後のお母さんもホルモンの急激な変化などにより心身のバランスを崩すことがあります。

そんな妊産婦さんたちのために平成18年3月10日に「マタニティマーク」が作られ、多くの妊産婦さんたちが身につけています。

もし、街や職場などで、このマークを付けている妊婦さんや赤ちゃん連れのお母さんたちを見かけたら、思いやりある気遣いをお願いします。

こんな気遣い、すてきです

- ・電車やバスなどでは率先して席を譲る
- ・階段やエレベーターの乗降時に協力する
- ・近くでの喫煙は控える
- ・「お手伝いしましょうか？」の優しい声掛け

